

# 政 策 16

～地域産業を振興し、豊かな経済活動ができるようにする～

## 「目標値」等一覧

総合計画前期基本計画における政策指標						
【実現したい状態】産業を維持・発展させる						
	起点値	達成値			目標値	
	平成13年	平成16年	平成18年	平成19年	19年(2次実施計画)	22年(3次実施計画)
①商業の年間商品販売額	①80,376,743万円	①79,834,292万円	①—	①76,488,304万円	①81,000,000万円	①80,000,000万円
②製造品出荷額	②46,795,923万円 (H12.12)	②42,685,599万円	②42,773,374万円	②42,773,374万円	②47,000,000万円	②43,000,000万円
目標値設定の説明						
<p>①年間商品販売額については、全国、千葉県ともに減少傾向にある。周辺市では大型店等の出店が相次ぐ一方、大幅な人口増加も見込めない状況であり、今後も同規模の市場の中でシェアを争う状態が続くと見込まれ、過去の数値も勘案し現状の売上規模の維持を目標とする。</p> <p>②工業団地では、現状として製造業を中心とする土地利用が図られており、工業の実態を表す指標として製造品出荷額を利用し、H18の中間値の維持を目標とする。</p>						

総合計画前期基本計画における政策指標						
【実現したい状態】産業を維持・発展させる						
	起点値	達成値			目標値	
	平成13年	平成16年	平成18年	平成19年	19年(2次実施計画)	22年(3次実施計画)
①農業生産額	①6,986百万円	①7,910百万円	①6,490百万円	①5,630百万円	①7,200百万円	①6,490百万円
②農業生産額 (10a当り)	②892千円	②1,010千円	②907千円	②787千円	②919千円	②907千円
目標値設定の説明						
<p>①農地・農家が減少傾向にあるが農産物の高付加価値による価格の安定を目指し、H17の中間値の維持を目標とする。</p> <p>②同上</p>						

総合計画前期基本計画における政策指標						
【実現したい状態】観光客が多く訪れるようになる						
	起点値	達成値			目標値	
	平成13年	平成16年	平成18年	平成19年	19年(2次実施計画)	22年(3次実施計画)
主要観光スポットの観光客数	94万人	93.3万人	82.5万人	88.0万人	100万人	95万人
目標値設定の説明						
新規の観光イベントがなく、ほぼ横ばいの状況が続く中で、過去の状況を勘案して目標を設定した。						

# 政策16

## 地域産業を振興し、豊かな経済活動ができるようにする

### 1. 商工業を盛んにする

#### 1. 現状と課題

本市は、市内全域に商業施設が整備されており、住民の生活にとって非常に便利な環境であります。しかし、少子高齢化などによる消費の減少により、年間販売額は減少傾向にあります。また、工業においては、工業団地の立地条件が企業にとって魅力があるため、遊休地になることはまれです。しかし、入れ替わり時には、製造業から流通業へのシフトが徐々に進んでいます。

#### 【特筆すべきニーズの変化】

- ① 小売店での買い物より、便利で品数が多く価格も安い大型店での買い物を好む消費者が増えています（ニーズの増）
- ② 三工業団地の維持、雇用や税収確保のための工業活性化が望まれています（ニーズの増）

#### ●市内の工業における製造品出荷額

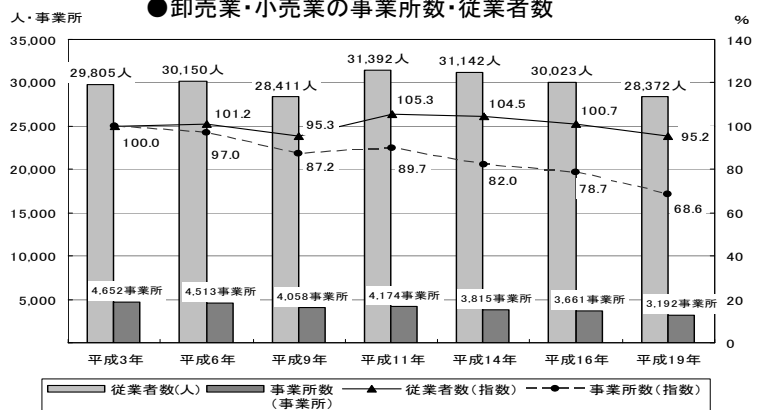
(金額単位:万円)

産業中分類	事業所数		製造品出荷額等	
	総数	総額	総数	総額
<b>松戸市</b>	<b>443</b>	<b>48,105,726</b>		
9 食料品	31	5,601,180		
10 飲料・たばこ	5	11,064,842		
11 繊維	2	X		
12 衣服	16	146,834		
13 木材・木製品	1	X		
14 家具・装備品	14	221,979		
15 パルプ・紙	24	3,409,856		
16 印刷	31	1,317,859		
17 化学	10	4,028,125		
18 石油・石炭	-	-		
19 プラスチック	39	3,416,217		
20 ゴム	10	262,079		
21 なめし革	16	239,347		
22 窯業・土石	12	610,597		
23 鉄鋼	5	461,298		
24 非鉄	2	X		
25 金属製品	90	6,569,759		
26 一般機械	59	1,979,905		
27 電気機械	12	228,915		
28 情報通信機械	2	X		
29 電子・デバイス	12	4,446,658		
30 輸送用機械	9	131,633		
31 精密機械	15	317,119		
32 その他	26	928,403		

出典：工業統計調査（経済産業省）

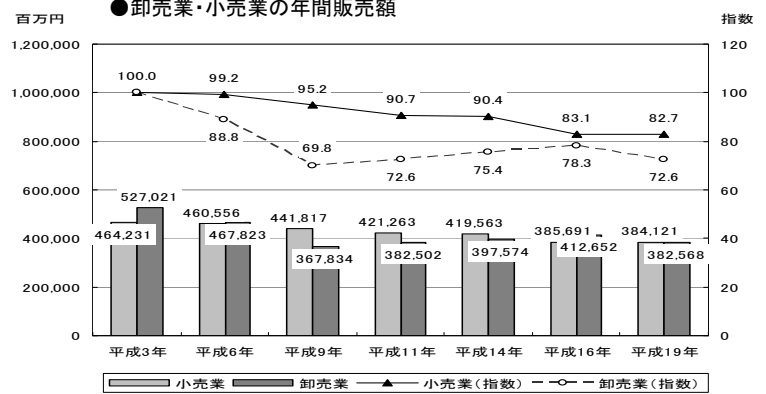
平成19年12月31日現在

#### ●卸売業・小売業の事業所数・従業者数



【注】指数は平成3年の数値(従業者数29,805人、事業所数4,652事業所)を100として換算した数値です。

#### ●卸売業・小売業の年間販売額



【注】指数は平成3年の数値(小売業464,231百万円、卸売業527,021百万円)を100として換算した数値です。

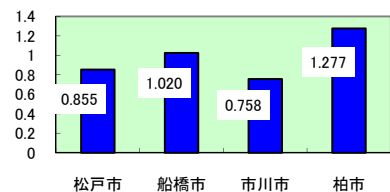
出典 上の2資料は、いずれも「松戸市商業・商圈調査報告書」

#### ●市内商店街数、事業所数、従業者数、売場面積、年間販売額の推移

	商店街合計			年平均増減率(%)	年平均増減率(%)
	H14	H16	H19		
商店街数 (街)	98	96	93	△ 1.0 %	△ 1.1 %
事業所数 (事業所)	1,711	1,574	1,153	△ 4.1 %	△ 9.9 %
従業者数 (人)	9,057	8,559	6,373	△ 2.8 %	△ 9.4 %
売場面積 (㎡)	119,148	119,771	91,323	0.3 %	△ 8.6 %
年間販売額 (万円)	10,853,268	9,824,439	7,175,288	△ 4.9 %	△ 9.9 %

出典 「松戸市商業・商圈調査報告書」

#### ●平成19年小売吸引力



小売吸引力の算出方法  
(小売吸引力) = 市町村ごとの1人当たり年間販売額 / 都道府県の1人当たり年間販売額  
\* 1.00を超えると他市町村からの買い物客が多く(流入超過)、下回ると流出超過を示す

出典 「松戸市商業・商圈調査報告書」

## 2. 取り組み状況

本市では、中小事業所への支援として、意欲的な商店街を対象に様々な取り組みをおこなっています。主な内容は、商店街活性化指導として、講習会の開催や専門家の派遣、販売促進活動への助成（イベント開催等）、商業環境整備への助成（街路灯、アーチ）などです。さらに、市役所内に経営相談窓口を設け、創業を目指す方や経営革新を必要とする事業主への助言を行っています。

卸売市場は、規制緩和等による流通構造の大きな変化に伴い全国的に取扱量が減少しています。市場を取り巻く厳しい状況から脱却し活性化を図るため、公設市場の「民営化」を検討しています。

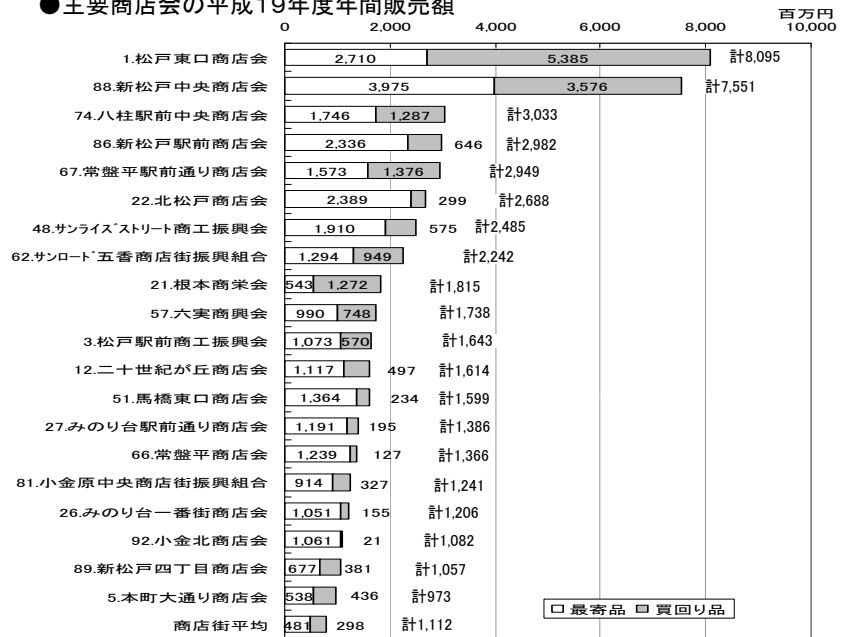
### 【特筆すべき松戸の強み・弱み】

- ① 経済エリアとなりうる地域のコミュニティとしての商店会が各地に多く点在しています（強み）
- ② 工業団地の利用が製造業から流通業にシフトし、工業団地としての機能が薄れてきています（弱み）

#### ●商店街の分布図

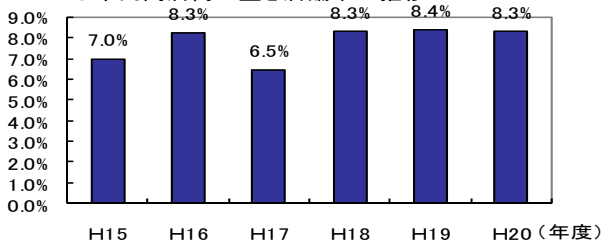


#### ●主要商店会の平成19年度年間販売額

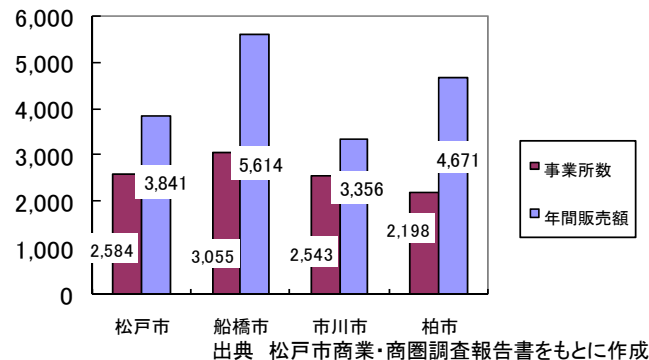


出典 松戸市商業・商圏調査報告書

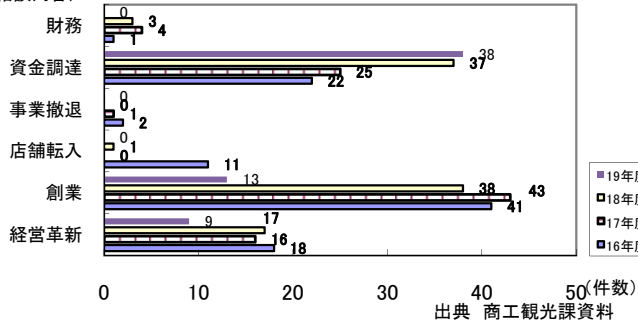
#### ●市内商店街の空き店舗率の推移



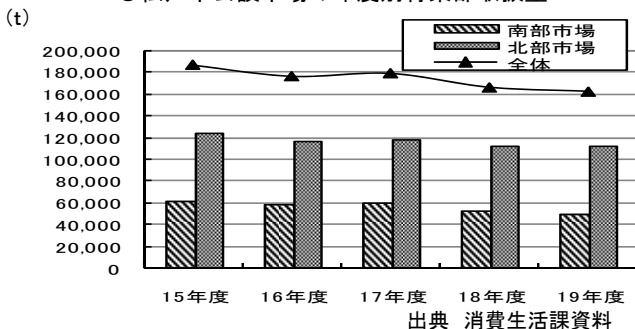
#### ●平成19年小売業の事業所数、年間販売額、商店街数の他市比較 (億円)



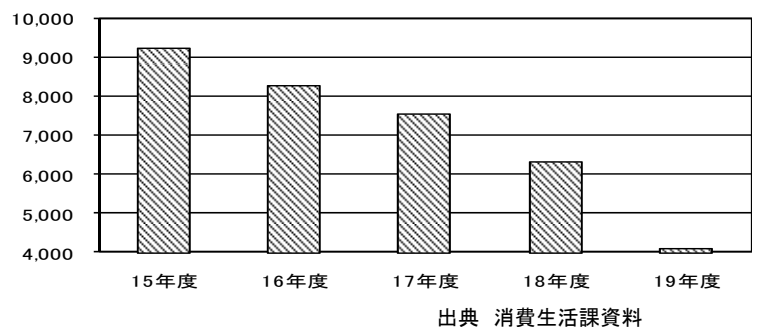
#### (相談内容) ●松戸市経営相談の内容と件数の推移



#### ●松戸市公設市場の年度別青果部取扱量



#### ●松戸市公設南部市場の年度別水産物部取扱量



# 政策16

## 地域産業を振興し、豊かな経済活動ができるようにする

### 2. 農林水産業を続けられるようにする

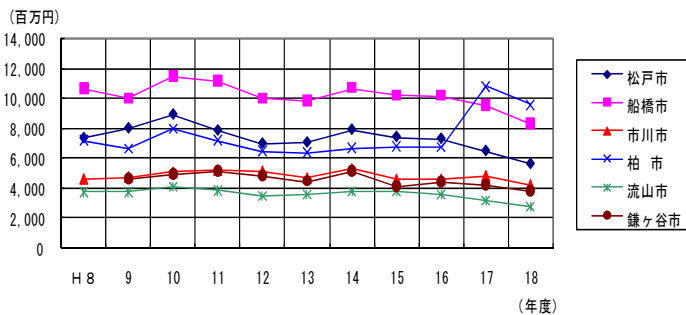
#### 1. 現状と課題

本市の農業は、都市近郊農業として発展してきました。特に露地栽培のねぎ、かぶ、大根、枝豆などは、県内はもとより全国でも有数の産地となっています。さらに、日本梨は「二十世紀梨」の原産地として有名で梨もぎや直売など観光梨園として多くの梨農家があります。しかし、農業者の高齢化、後継者不足は進んでおり、これに伴い農地の減少、遊休農地の増加が懸念されています。また、農地と住宅が隣接している地区が多く営農環境は年々悪化しています。

#### 【特筆すべきニーズの変化】

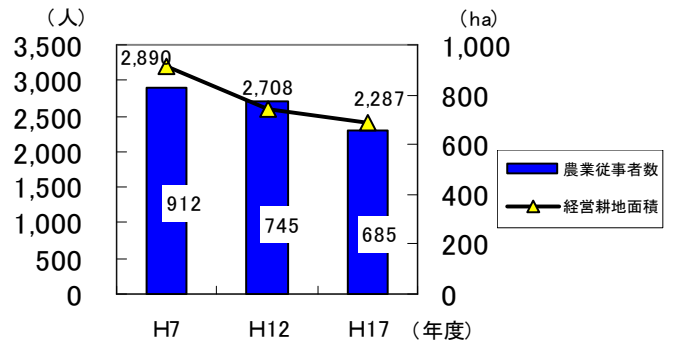
- ① 高齢化が進み、後継者不足から農業の継続が困難になってきた農家が増えています（ニーズの増）
- ② 政策的に農業の生産性を高め、農業の魅力を高めることが必要になってきています（ニーズの増）

●農業産出額他市比較



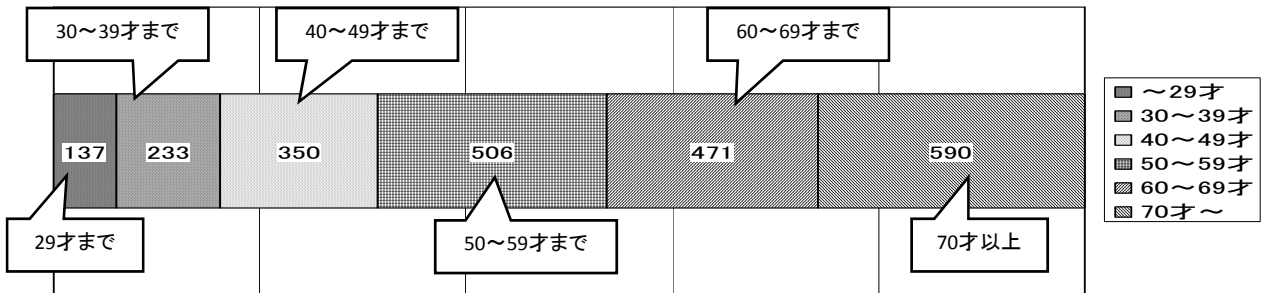
出典 千葉県生産農業所得統計

●農業従事者と経営耕地面積



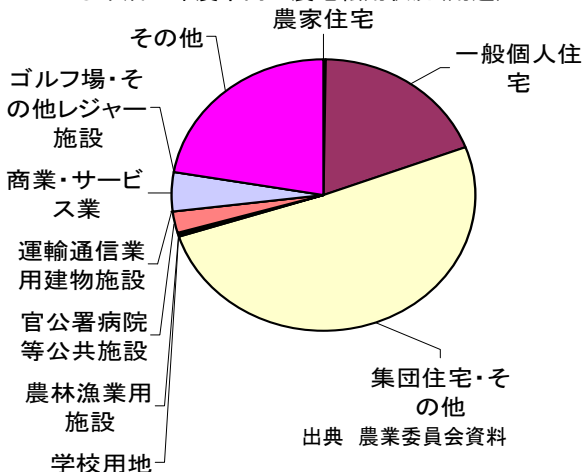
出典 農林業センサス

●平成17年度年齢層別基幹的農業従事者数



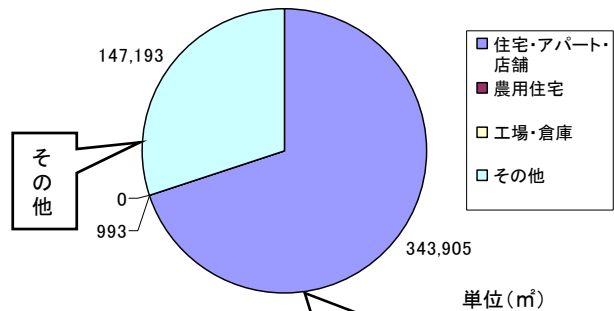
出典 農林業センサス

●平成18年度市内の農地転用状況(用途)



出典 農業委員会資料

●平成18年度市内の農地転用状況(面積)



出典 農業委員会資料

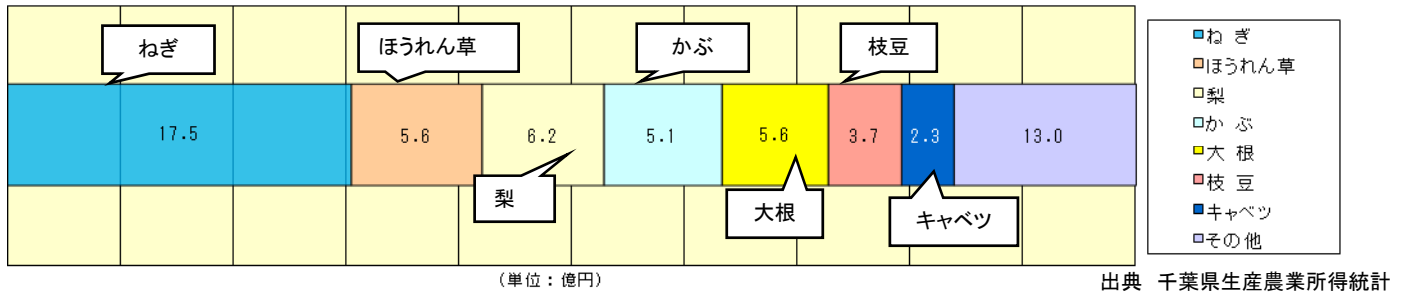
## 2. 取り組み状況

本市では、平成18年8月に農業基本構想を定めています。この構想の中で具体的な推進方向として、①安全・安心な農産物『松戸ブランド』の推進 ②遊休農地解消に向けての農用地集積の促進 ③観光農業・体験農園・産地直売農園の推進 ④農業改善計画が市に認定された認定農業者制度普及・促進の推進の4つを掲げ、さらに市独自の融資制度や補助制度により農業振興を進めています。

### 【特筆すべき松戸の強み・弱み】

- ① かぶ、ねぎ、枝豆など全国有数の出荷額を誇る産品を生産しています（強み）
- ② 大規模農地が少ないので、農業従事者一人当たりの農業所得が少ない状況にあります（弱み）

●平成18年産(56億3千万円)の品目別産出額内訳



●平成18年 松戸市主要農産物の産出額と全国及び県内順位

品目	農業産出額 (千万円)	全国順位	県内順位
ねぎ	175	8位	2位
ほうれん草	56	26位	6位
梨	62	32位	6位
かぶ	51	4位	3位
大根	56	19位	3位
枝豆	37	11位	2位
キャベツ	23	45位	5位
その他	103		
計	563	***	***

●市内農家、農業従事者の生産農業所得推移と県内順位

(年)	農家1戸当たりの農業所得 (千円)	県内順位	耕地10a当たりの農業所得 (千円)	県内順位	農業者1人当たりの生産農業所得 (千円)	県内順位
H14	3,610	11	394	3	1,848	25
H15	3,384	10	369	3	1,733	46
H16	3,741	9	480	2	1,916	19
H17	3,567	9	399	3	1,869	21
H18	2,836	9	324	3	1,498	21

出典 千葉県生産農業所得統計  
千葉県青果物生産出荷統計

(県内自治体数はH16までは78、H17は71)

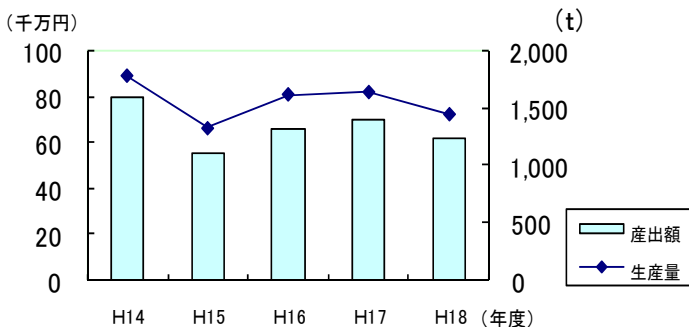
出典 千葉県生産農業所得統計

松戸市では、市内で生産された農産物の販路拡大及び安定供給を図り、効率的で安定的な農業経営基盤を強化するため、松戸産農産物のブランド化を推進しています。みのりちゃんマークが表示されている野菜、果物は、松戸産です。



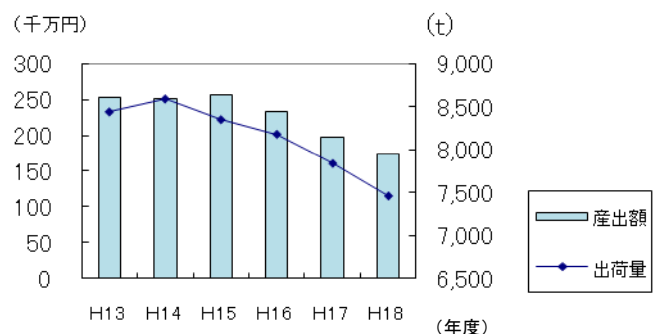
松戸産農産物ブランド化ロゴマーク  
みのりちゃん

●梨の産出額・生産量の推移



出典 千葉県生産農業所得統計  
千葉県青果物生産出荷統計

●ねぎの産出額・生産量の推移



出典 千葉県生産農業所得統計  
千葉県青果物生産出荷統計

# 政策16

## 地域産業を振興し、豊かな経済活動ができるようにする

### 3. 市内観光を楽しめるようにする

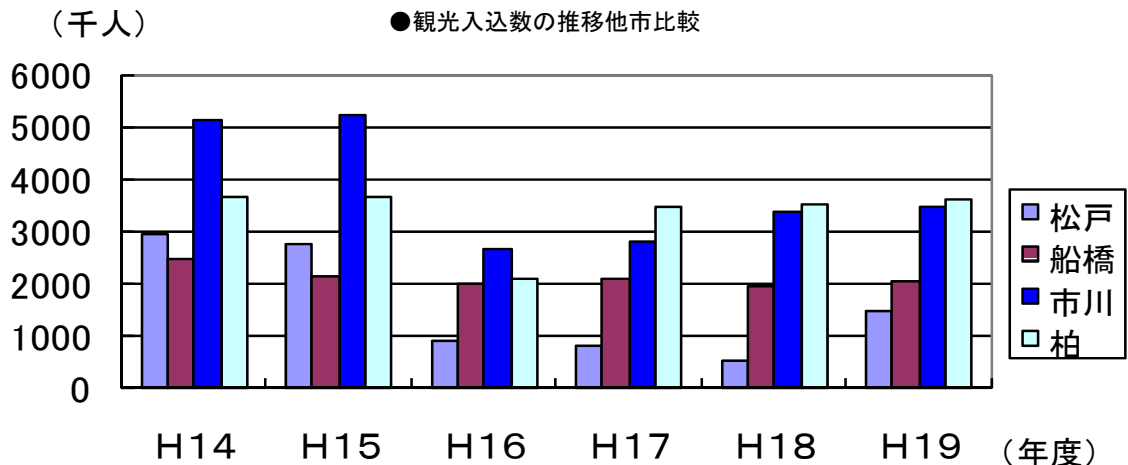
#### 1. 現状と課題

本市では、春を告げるさくらまつりが市内4ヶ所で開催され、その後年間を通して色々なイベントが行われます。見所は「日本の道100選」に指定された3kmに及ぶさくらがトンネルを作る「常盤平さくらまつり」、華麗な光の競演と地上花火でフィナーレを迎える「松戸花火大会」、さらに、老若男女が汗を流す「YOSAKOI松戸コンテスト」を始め、各種催しが行われ多くの人々で賑わう「松戸まつり」などがあります。イベントには、市内企業、商店及び個人で構成される松戸市観光協会も後援し観光事業の振興を図っております。

また、二十世紀梨発祥の地であることから、61箇所ある梨園で作る組合連合会があり、秋の収穫時季にはもぎとり・直売で観光の一翼を担っております。観光地としては、国指定重要文化財である「戸定邸」、市内随所に点在する神社仏閣や「矢切の渡し」などがお勧めで多くの皆様楽しんで頂いております。しかし、都心から近いためベットタウン化し観光地としての環境づくりが遅れています。今後は、全国的に有名な「矢切の渡し」のある矢切地区を観光地として、日帰りを楽しめるような環境整備を目指しています。

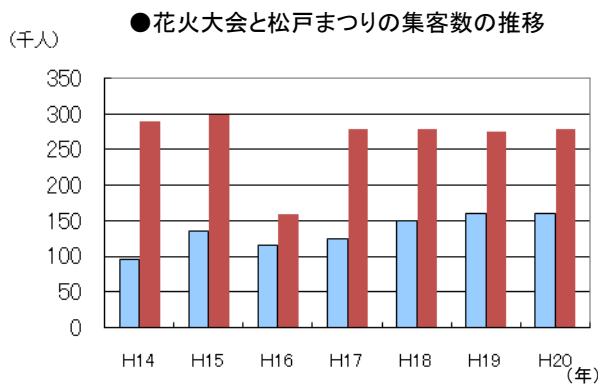
#### 【特筆すべきニーズの変化】

- ① 多くの方が、花火大会、松戸まつり、さくら祭りなどの定例イベントを楽しみにしています (ニーズの増)
- ② いろいろなまちを訪ね、日帰りでのウォーキングなどを楽しむ人が首都圏の中で増えています (ニーズの増)

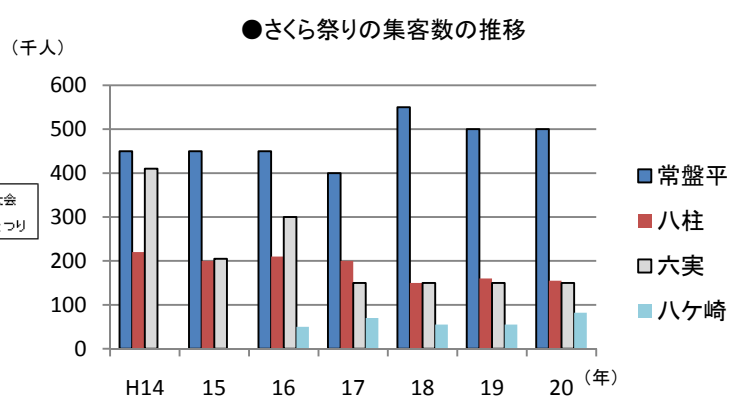


出典 千葉県観光入込調査

\* 松戸市の平成14年度、15年度は、21世紀の森と広場、常盤平さくら祭、六実さくら祭、松戸神社。16年度以降は、バンダイミュージアム、矢切の渡し、本土寺、江戸川ゴルフ(花火大会、さくら祭り、松戸まつり含まず)。また、バンダイミュージアムは平成18年8月31日で閉館。



出典 商工観光課資料



出典 商工観光課資料 (八ヶ崎はH16からのカウント)

## 2. 取り組み状況

本市では、各種イベントに対する支援を継続するとともに、皆様にお楽しみいただける安全でより良いイベントとするため、関係団体と共に協議、研究を進めております。市内に点在する神社仏閣、史跡や歴史公園などの観光スポットを紹介するマップやチラシを作成し、観光協会ホームページと共に多くの方に情報を提供しております。また、矢切地区では「矢切の渡し」から「野菊の墓」文学碑のある西蓮寺を巡る道路わきに芝桜を植えることや、市民の協力を得て450mの花壇を設け、それらの景観を楽しみながら散歩できる観光地作りをしております。また、自主的な市民活動として、「松戸シティガイド」が組織され、戸定邸などの観光名所案内をするなど市民による支援体制が出来始めています。

### 【特筆すべき松戸の強み・弱み】

- ① 東京に隣接した立地にありながら、自然・文化・歴史を感じるスポットが多く残されています（強み）
- ② 観光スポットとなり得る場所が、市内に点在しているが、それも結ぶルートが整備されていません（弱み）

### ●18年度事業実績「野菊の墓」100周年事業



#### ←野菊の里マップ

イラストレーターによる矢切の風景を描いた矢切限定のガイド地図。

#### 野菊のこみち→

野菊の墓文学碑から矢切の渡しまでのねぎ畑の中を徒歩で散歩する小道。道の両脇にシバザクラを植栽しており、春には花で埋め尽くされます。



### ●野菊の墓記念碑と伊藤左千夫氏



### ●「野菊の墓」発表100周年記念事業

矢切を舞台に描かれた伊藤左千夫の純愛小説「野菊の墓」発表100周年を記念し、松戸市観光協会が主催した事業の展開。

イベント名	内容	参加人数
シバザクラ、戸定が丘散歩ツアー	広報まつで参加者を募集し、シバザクラが植栽された矢切地区の「野菊のこみち」の散歩と戸定邸の見学ツアー。平成18年4月13日	20名
「野菊の墓」ものがたり	松戸駅西口展示ブースに創作人形で「野菊の墓」の世界を再現。展示期間平成18年6月1日～10月31日まで	多数
「矢切の里」イラストマップ	イラストによる矢切地区の地図を3,000枚作成。裏面には、観光協会会員名を掲載。平成18年9月発行	多数
「野菊の墓」映画上映会	松田聖子主演の映画「野菊の墓」の上映会。これに関連し、『初恋』をテーマにした短歌大会の開催。平成18年9月23日	100名
伊藤左千夫生家見学ツアー	広報まつで参加者を募集し、伊藤左千夫の生家や歴史館の見学。また、地元名産のイチゴ狩りのバスツアー。平成19年1月27日	48名

### ●松戸市内に点在する観光スポットマップ



### 出典 松戸市観光協会資料



← 松戸市観光梨園 松戸市は二十世紀梨の発祥地です。市内には、61箇所の梨園があり、もぎとり、直売を行っています。年間約4万人もの観光客が訪れる観光スポットです。

### ●松戸シティガイドの20年度活動実績

松戸シティガイドは、自主的な市民活動団体で松戸市と近隣の史跡や自然についてガイドすることにより、我が街のイメージアップを図ることを目的に活動しています。

- 戸定邸内では
  - ① 定期ガイド(土・日・祭日)／夏季、冬季休み有り
  - ② 希望団体への臨時ガイド
- 市内、市外でのガイド活動

内容	主催	参加人数
小金地区ガイド	市川公民館	26名
本土寺ガイド	板橋仲町新和会	35名
東漸寺、八坂神社ガイド	習志野市屋敷公民館	17名
公民館ツアー	市川公民館	約30名

#### ●その他(イベントボランティア活動など)

内容  
桜まつり、松戸まつり販売ボランティア

#### ●団体客のガイド活動

戸定邸ガイド	101回	2,588名
緑の回廊ツアー	38回	1,074名